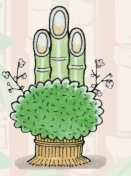


表通り  
裏通り

# すごろく 本丸御殿 大改修双六



川越城本丸御殿は、焼失した二の丸御殿に代わって本丸に再建された城主の住居。嘉永元年(1848)の竣工から今年で162年目になります。明治4年の廃藩以来、県庁、公会所、たばこ工場、武道修練道場(武徳殿)、校舎などに利用され、昭和42年に解体修理が行われました。今回は、そのとき以来42年ぶりの大改修。日本100名城に選ばれた川越城。この改修の模様を双六にしてみました。見事あがると、あなたも本丸御殿通!?



## ふりだし

2

### 工事見学会 (5月30日実施) 参加者の声

吉野友季子さん(新宿町2丁目)

40年ほど前に、お茶会をしたことを思い出しました。杉戸絵の前でのお点前は、今考えるとぜいたくでしたね。修理は、もっと簡単にするのかと思いましたが、床板もすべてはがし、骨組みになった屋根を見たときには、驚きました。



見学会の様子

次の人のサイコロを振り、同じ数だけ自分も進む。

1



お団子? 大工さんはお腹がすいていたのでしょうか。木を組む位置の目印として書かれた絵です。

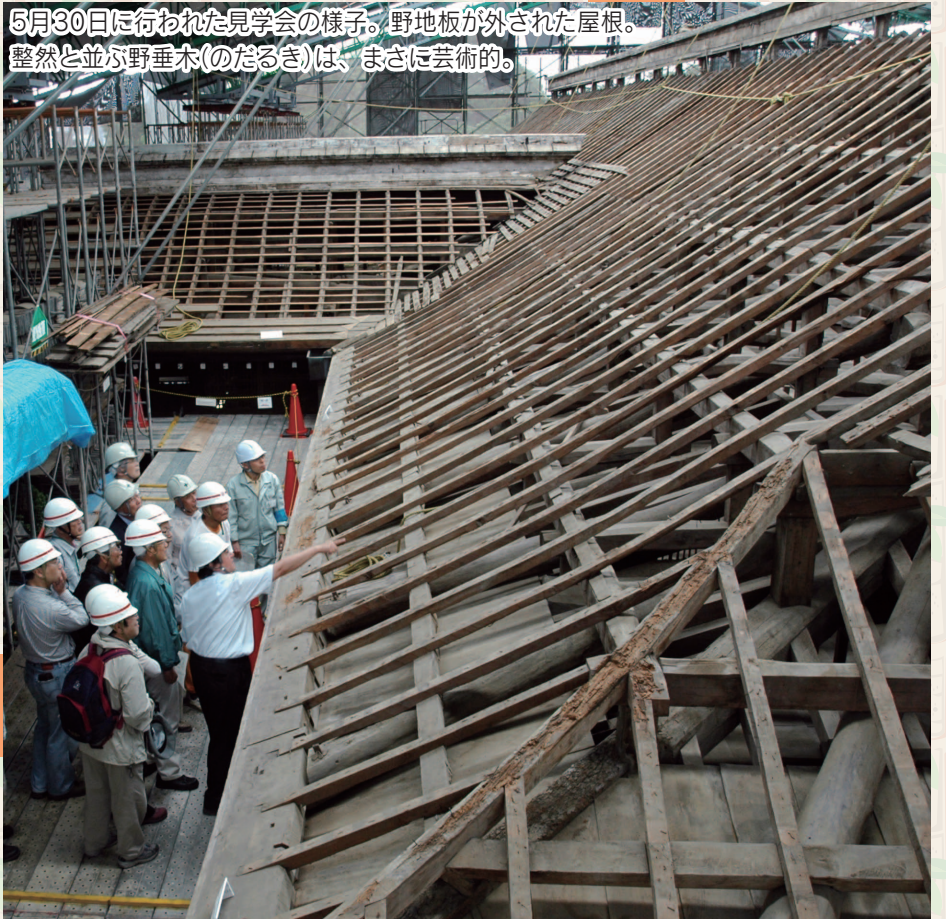
本丸御殿を再建した松平大和守家は徳川家の親藩。軒先の巴瓦(ともえがわら)に葵(あおい)の紋を見ることができます。

3

床下から古銭が見つかる。  
3つ進む。

4

5月30日に行われた見学会の様子。野地板が外された屋根。整然と並ぶ野垂木(のたるぎ)は、まさに芸術的。



5



床下から発見された、先生用のものさし。算数が嫌いな子が隠してしまったのかもしれません。

# あがり



川越城本丸御殿は平成23年3月オープン(予定)

17

川越城の七不思議をすべて言えたらあがり。言えなかったら、一回休み。

16

奈良から届いた瓦、いよいよ瓦ぶき工事の始まりです。



14



継手をついて柱を補強。元職人技。

15

新しい瓦が出来上がる。2つ進む。

13

本丸御殿の歴史を再確認！ふりだしに戻る。

11

唐破風が見たくなる。8に戻る。

9

三角定規が、床下から見つかる。もう一度サイコロを振る。

12

武徳殿として使われていたとき、床下に埋められたため、剣道などで、床板を踏み込む音を反響させるために置かれたそうです。

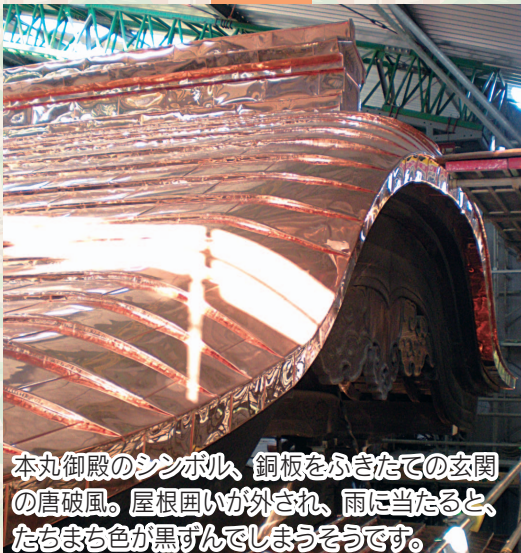


が出たらあがり。



が出たら4に戻る。

8



本丸御殿のシンボル、銅板をぶきたての玄関の唐破風。屋根囲いが外され、雨に当たると、たちまち色が黒ずんでしまうそうです。

7



建物北側の鬼瓦。高さは1mほど。近くで見ると迫力満点。

6

鬼瓦を運ぶ。1回休み。

10

## 工事見学会(11月28日実施) 参加者の声

ないとうたかひろ

内藤雄大くん(14歳)

城に興味があり、本丸御殿には、よく来ます。見学会は、友達と参加しました。普段、同じ高さの目線では見ることができない屋根

や、雨に当たって色が変化する前の唐破風の銅板ぶきを間近に見ることができて良かったです。

現存する本丸御殿が完成したときの城主を言えたら2つ進む。



見学会の様子